京都市地区小学校教科書選定委員会 答申

「特別の教科 道徳」について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

選定の観点

- 1 道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を図るため、児童の発達段階に即し、学習のねらい（目標）や振り返り活動等が適切に設定されるなど、児童の道徳的な成長を促し、実感できるよう工夫・配慮されていること。
- 2 言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等、児童が主体的・対話的に道徳的価値について、広い視野から多面的・多角的に学べるよう多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと。
- 3 教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮されていること。
- 4 生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、児童が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮されていること。
- 5 教材の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から、他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また、他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。
- 6 基本的人権の尊重の視点からの内容が積極的に取り上げられ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができ、人間としてよりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう工夫・配慮されていること。
- 7 表記や表現について、文章や挿絵、写真等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

調査研究の結果の概要

■東京書籍「新しい道徳」

各教材に、タイトルとともに、「学習テーマ」として、内容項目が分かりやすい言葉で示されており、学習の見通しがもちやすく、また、各教材末には、「考えよう」として、中心発問と自己を見つめるための2種の発問が用意されており、主体的な学習に取り組みやすい。さらに、各学年巻末には、教材ごとに3つの視点で自己評価を行う特設ページや、学期ごとに心に残った授業を振り返る特設ページが3枚用意されるなど、よく工夫されている。

問題解決的な学習、体験的な学習活動ともに教材数がやや少ないが、随所に設定される「考えるステップ」において、問題解決的な学習の展開を促すとともに、道徳的価値に根差した問題について考える学習活動が各学年で適宜設定されている。また、相互理解に基づくコミュニケーション活動を通して、価値理解を深める活動を提案する特設ページが随所に配置されるなど、多面的・多角的に考えられるよう、よく工夫されている。

現代的な課題については、いじめ問題、情報モラル、防災・安全教育、キャリア教育等が、コラムとも関連させながら、適切に取り上げられている。特に、全学年でいじめ問題が重点項目とされており、扉ページと2教材を組み合わせたユニットを構成し、扉ページでは相手意識を持つことの大切さなどを印象的な言葉で投げかけ、直接教材と間接教材を組み合わせるなど、いじめをしない、許さない心を育めるよう、よく工夫されている。また、他教科等や現代的な課題との関係を示した一覧表はないが、他教科との関連や日常生活とのつながりを意識した学習を提案する特設ページが、各所に配置されている。

中学校になる自分へメッセージを書く欄や保護者へのメッセージが掲載されるなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

■学校図書「かがやけみらい 小学校道徳 きづき」「かがやけみらい 小学校道徳 まなび」

教材を掲載した「きづき」と、学習活動を掲載した「まなび」との分冊構成を生かし、教材文に発問を示さないことで、児童の自発的な課題発見を促すなど、全体を通して、問題解決的な学習が重視されるとともに、「やってみよう」として、役割演技などの体験的な学習活動が提案されるなど工夫されている。しかし、「きづき」は題材ごと、「まなび」は内容項目ごとに構成されており、関連性が分かりにくく、使いづらい。また、「まなび」には、2種の発問が用意されており、主体的な学習に取り組みやすいよう工夫されているが、「きづき」には、教材に学習のめあてが示されておらず、学習の見通しがもちにくくなっている。

「まなび」の「心のパレット」には、同年代の児童が吹き出しで問いかけるイラスト・写真が豊富で、幅広いテーマから引き出される道徳的価値を多様に捉え、考えることができるよう工夫されている。また、各教材に3つの視点で学習内容を振り返り、自己評価するコーナーが設定されるなど工夫されているが、自分の考えや友達の考えを記入する欄のマス目が細かく、低学年と高学年で同じ大きさであるなど、配慮されていない。

現代的な課題については、「まなび」での多様な学習方法や関連資料とあわせて、多様に考えることができるよう工夫されている。特に、いじめに関する教材には、「ともに生きる」マークが付され、学習前の意識付けが行いやすく、また、学級が崩れやすいとされる6月・11月、人権週間のある12月を中心に配置されるなど、生命の尊重、よりよく生きることについて、時機を捉えて、集中的に学べるよう工夫されている。

中学校になる自分へメッセージを書く欄や保護者記入欄、保護者へのメッセージが掲載されるなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

■教育出版「小学道徳 はばたこう明日へ」

各教材に、タイトル、内容項目、キャラクターによる主題への誘いが示されており、その教材で取り扱う道徳的価値が分かりやすいうえ、学習の流れも明確で、学習の見通しがもちやすく、優れている。また、各学年巻末の「学びの記録」には、教材ごとに学習した日付を記入する欄、学期ごとに心に残った授業やその感想等を書く欄が用意されており、学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。

適宜、道徳的価値が実現されていないことに起因する課題を取り上げる導入ページが教材の前に設けられるとともに、各教材の発問は問題解決的な学習につながるよう工夫されている。また、体験的な学習活動も適宜提案されているとともに、学習の流れを可視化するため、各教材末に複数設定される発問のひとつ「やってみよう」には、適宜「スキル」マークを付して、動作化や書く活動、役割演技等の多様な学習方法が提案されており、主体的・対話的な学習活動が展開しやすく、優れている。さらに、考え議論するための問い、価値理解をさらに深めるための問い、役割演技を促すための問い、他教科と関連した学習につなげるための問いなどが、各教材に多彩に用意されており、多面的・多角的に考える手立てとなっている。

現代的な課題については、「いじめをなくす」、「情報モラル」、「生命尊重」の3点が重点とされている。「いじめをなくす」は、教材が豊富で、直接教材と間接教材を組み合わせたり、いじめを自分ごととして強い問題意識をもつための導入教材を用意したり、教材の後に補助教材やコラムを配置するなど、多面的・多角的に考えられるようにするなど、よく工夫されている。

各学年巻末の特設ページには、次学年や中学校で頑張りたいことを書く欄、「家の人から一言」欄が用意されるなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

■光村図書「道徳 きみが いちばん ひかるとき」

1年間の成長過程を踏まえ、年間を3つに区分して構成し、期間ごとに重点教材が配置されているとともに、各教材には、タイトル、内容項目、キャラクターによる導入の問いかけが示されており、その教材で取り扱う道徳的価値が分かりやすいうえ、学習の流れも明確で、学習の見通しがもちやすく、優れている。また、期間の区切り目には、「学びの記録」として、発達段階に応じて、学習内容を記録する欄が教材の数だけ設けられた特設ページが用意されているとともに、1年間を振り返る「まとめ」ページが巻末に用意されるなど、よく工夫されている。

問題解決的な学習や体験的な学習活動につながる教材が豊富である。特に、児童が演じて話し合うことが有効と考えられる教材には、「演じてみましょう」と提案するとともに、特設ページ「演じて考えよう」でさらに深めるなど、よく工夫されている。

教材末に適宜配置される「つなげよう」は、特別活動との関連、図書の紹介、日常生活への意識付けなど、キャラクターが呼びかける形で、多様な見方・考え方につなげるとともに、1時間の学びを次の行動に生かせるよう工夫されている。さらに、日常生活、これまでの学び、これからの自分の行動、他教科等との関連の4つの切り口で、主体的・対話的な学習をはじめ、多様な学習活動が適宜提案されており、優れている。

現代的な課題については、いじめ、情報モラル、社会の持続可能な発展などの教材とコラムを組み合わせたユニットが構成されており、特に、「いじめを考えるユニット」では、いじめを

する者、される者など、実際の役割演技に加え、友達が演技している様子を観察して、どのようなことを話し合うかといった多様な視点から考えることを促すなど、よく工夫されている。

各界の著名人からのメッセージや保護者へのメッセージが掲載されるなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

■日本文教出版「小学道徳 生きる力」「道徳ノート」

教科書本冊に加え、同じレイアウトに構成された別冊「道徳ノート」が付いている。各教材には、主題、導入の発問例、あらすじに加え、主な登場人物が図示されており、その教材で取り扱う道徳的価値が分かりやすいうえ、学習の流れも明確で、学習の見通しがもちやすく、優れている。また、各教材末には、教材のねらいに迫る発問と考えたことや未来への思い、課題を考える発問の2種が用意されるなど工夫されている。

各教材につき1ページで構成される道徳ノートには、自分の考えを書く欄、友達の意見、話し合いの中で気付いたことなどを記録したり、振り返りや自由記述に活用できる書き込み欄が設けられており、様々な学習活動と関連付けたり、ポートフォリオとしても活用することで、主体的・対話的な学習はもとより、多様な学習活動につなげやすく、優れている。

各学年で複数配置されている問題解決的な学習や体験的な学習活動を促す教材には、対話や話し合い活動等を通じて、多様な見方・考え方にふれる実践的な活動をイラスト等を用いて4段階で分かりやすく提案する「学習の手引き」が付されるなど、よく工夫されている。また、適宜配置されるコラム「心のベンチ」は、考えるヒントやゲーム感覚で取り組める活動など、多彩な手法を用いて、情報モラル、職業、外国文化などの幅広いテーマについて、他教科や他の教育活動とも関連付けながら、多様な視点から考えることができるよう、よく工夫されている。

現代的な課題については、いじめ防止、情報モラル、安全、社会の持続可能な発展などに関する教材が、コラム「心のベンチ」と組み合わせ配置されている。特に重要テーマとするいじめ防止は、各学年各学期に複数教材とコラムをまとめて配列されており、集中的に学習することで「しない」「させない」「見過ごさない」力を育めるよう、よく工夫されている。

別冊ノートに、中学校になる自分へメッセージを書く欄や保護者記入欄が設けられるとともに、保護者へのメッセージも掲載されるなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

■光文書院「小学道徳 ゆたかな心」

各教材冒頭の「導入」「問い」から教材末の「まとめる」「広げる」まで、学習の流れが可視化されており、授業の目的や流れが分かりやすく、また、各教材のはじめに掲載されているタイトル、内容項目、主題にかかる導入文、主な登場人物のイラストによって、見通しをもった主体的な学習に取り組むやすい。一方、各教材の発問が「…を考えましょう」、「…についてまとめましょう」と価値理解に寄せたものが多く、多様な学習につながりにくい面がある。

各教材の導入では、キャラクターの吹き出しで、その教材で考える課題が示されるなど、問題解決的な学習を促すとともに、「まとめる」「広げる」では、多様な体験活動が提案されているが、学習のポイント「まとめる」と、学習を深めるためのヒント「広げる」の文字表記がないため、児童がどちらの学習を行なっているか、わかりづらい面がある。

中学年以上の巻末にある「学びの足あと」には、教材ごとに授業を受けた後の自分の気持ちを矢印で表すとともに、感想を書く欄が一覧の形式で設けられているとともに、共感や気付き、

考えるためのポイント、自由な思考を促す発問など、キャラクターを用いた様々な「投げかけ」が、各教材の本文下段に示されており、多面的・多角的に思考するための手立てとなっている。現代的な課題については、いじめ問題、情報モラルが重視されている。特に、いじめ問題については、扉ページと関連教材、キャラクターを用いたコラムを組み合わせることで重点的に配置されており、教材やコラムの内容を扉ページで図示することで、複数時間にわたる学習への見通しをもてるよう工夫されている。

中学校になる自分へメッセージを書く欄や保護者へのメッセージが掲載されるなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

■学研教育みらい「新・みんなの道徳」

各教材末に、教材で扱う道徳的価値に迫るための発問と、考えを深め自己を見つめ直すための発問の2種が用意されている。主題に捉われることなく、児童の問い（問題意識）を大切にすることを意図して、各教材に主題が示されていないが、主題がないことで、児童が教材の内容を捉えにくくなっている。また、教材ごとに振り返るページ等は用意されていないうえ、1年間を振り返り、自身の成長の様子などを書き込む特設ページである「心の宝物 学びの足あと」も構成や投げかけ文の工夫が弱い。

問題解決的な学習、体験的な学習活動ともに教材数がやや少ないが、全学年を通して、多様な学習活動を提案する「学び方ページ」が豊富に設定され、主体的な学習活動や話し合い活動、グループワークなど、多様な学習方法や体験的な学習を行うための活動のポイントや方法が提案されるなど工夫されており、優れている。一方で、異なる意見をもつ人物が複数登場する一部の教材において、登場人物の数が多過ぎ、配置も粗いため、関係性が掴みづらく、役割演技の提案も明確でないため、活動しづらいものがある。

現代的な課題については、いじめ問題、情報モラル、防災・安全教育、キャリア教育等が、コラムとも関連させながら適切に取り上げられており、6年間を貫く最重点テーマを「いのちの教育」としている。いじめ防止について、直接教材と間接教材を組み合わせたり、話し合い活動やグループワークと関連付けたりして、幅広い角度から集中的・多面的に学習できるよう、よく工夫されている。

中学校になる自分へメッセージを書く欄が設けられており、また「学び方ページ」には、保護者に記入してもらう欄を用意したり、家庭での話し合いを提案したりするなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

■廣済堂あかつき「みんなで考え、話し合う 小学生の道徳」「自分を見つめ、考える 道徳ノート」

教科書本冊に加え、別冊として「道徳ノート」が付いている。各教材には、タイトル、主題、「学習の道すじ」として、学習のめあてが示されており、学習の見通しがもちやすく、また、「考えよう 話し合おう」として、複数の問いが用意されるなど工夫されている。一方、本冊の目次は教材名のみで、他の情報はほぼ示されておらず、1年間の学習の見通しや教科書の使い方などが一目では分かりにくいなど、使いづらく、各学年の巻頭のオリエンテーションページも文字のみでイラストなどがなく、年度当初の学習意欲を高める手立てとしては、工夫が弱い。

別冊ノートには、授業ごと、内容項目ごとの振り返り欄とともに、話し合いや体験活動ごとの記録欄も設けられており、また、「心のしおり」として、教材ごとに3種の顔マークに色を塗ることで自身の心情を振り返るための資料が用意されているが、本冊は教材ごと、別冊ノート

は内容項目ごとに構成されており、関連性が分かりにくい。

問題解決的な学習や体験的な学習活動につながるよう工夫された教材が、他社に比べて最も豊富に設定されている。また、適宜配置される「学習を広げる」では、教材に関連した知識の習得やさらに深い価値理解を促すため、格言や関連書籍が紹介されるとともに、役割演技や調べ学習が提案されており、多面的・多角的に思考するための手立てとなっている。

現代的な課題については、いじめ問題、情報モラル、防災・安全教育、キャリア教育等が、別冊ノートの資料等とも関連させながら、適切に取り上げられている。特に、6年間を通して重点とされる「生命尊重」は、特集ページなどを通して、命が宿る神秘、ともに生きる素晴らしさ、限りある生命について多面的に考えることができるよう工夫されている。

別冊ノートに、将来の夢を書く欄や保護者チェック欄が設けられており、また、本冊、別冊ともに保護者へのメッセージが掲載されるなど、校種間、家庭や地域との連携も図られている。

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

選定の観点		選定の視点		東京書籍	学校図書	教育出版	光村図書	日文出版	光文書院	学研	あかつき
1	道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を図るため、児童の発達段階に即し、学習のねらい(目標)や振り返り活動等が適切に設定されるなど、児童の道徳的な成長を促し、実感できるよう工夫・配慮されていること。	1	適切なねらい(目標)の設定およびねらい(目標)に迫るための発問等の工夫	○	△	◎	◎	◎	△	△	△
		2	自分との関わりにおいて、自己を見つめ、考えを深めることができるような振り返り活動やよまための設定(これまでの体験等を通じて道徳的な成長を促し実感するための工夫)	◎	○	○	◎	◎	○	△	○
2	言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等、児童が主体的・対話的に道徳的価値について、広い視野から多面的・多角的に学べるよう多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと。	1	主体的・対話的に学習に取り組むための言語活動の工夫	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○
		2	問題解決的な学習、体験的な学習等の多様な指導方法の工夫	○	○	○	◎	◎	○	○	○
		3	道徳的価値を広い視野から多面的・多角的に学べるための工夫	◎	○	○	○	◎	○	◎	○
3	教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮されていること。	1	多様で適切な挿絵や写真、イラスト等の充実	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	多様な見方・考え方ができるような工夫・配慮	○	○	○	○	◎	○	△	○
4	生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし、児童が物事に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫・配慮されていること。	1	現代的な課題(生命の尊厳、いじめの防止、社会参画、自然(防災を含む)、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報モラル等)の取扱い	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	現代的な課題に対して多様な考えをもつことができたり、感動を覚えたりするよう工夫	◎	○	◎	◎	◎	○	◎	○
5	教材の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの観点から、他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また、他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。	1	教材の系統性・発展性の工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	他教科等や様々な教育課題との関連	○	○	◎	◎	◎	○	○	○
		3	他校種との円滑な接続を意識した教材や指導方法の工夫(小中連携)	○	○	○	○	○	○	○	○
		4	家庭や地域との連携の工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
6	基本的人権の尊重の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができ、よりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう工夫・配慮されていること。	1	生命の尊さ、人間尊重の精神を培うための工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
		2	法やきまりの意義、人間関係の理解や課題について深く考えられる工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
		3	悩みや葛藤等の心の揺れから、よりよく生きる喜びや勇気について深く考えられる工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
7	表記や表現について、文章や挿絵、写真等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。	1	文章や挿絵、写真等の適切さ、正確性、使いやすさの工夫	○	△	○	○	○	△	○	○
		2	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	○	○	○	○	○
		3	装丁や編集の適切さ、堅牢性の工夫	○	○	○	○	○	○	○	○
		4	用紙、インク等の環境面への配慮	○	○	○	○	○	○	○	○

【特別の教科 道徳】観点別資料

【選定の観点1】1枚目

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を図るため、児童の発達段階に即し、学習のねらい（目標）や振り返り活動等が適切に設定されるなど、児童の道徳的な成長を促し、実感できるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○各学年巻頭のオリエンテーションページに、イラスト等を用いて、道徳科の授業の流れや話し合い活動の留意点がまとめ示されているとともに、授業のイメージをもたせ、学習意欲を高めるよう工夫されている。</p> <p>○各教材に、タイトルとともに、「学習テーマ」として内容項目が分かりやすい言葉で示されており、学習の見通しがもちやすい。</p> <p>○各教材末に、「考えよう」として中心発問と自己を見つめるための2種の発問が用意されており、主体的な学習に取り組みやすい。</p>	<p>○各学年巻頭に、道徳科の授業の流れや話し合い活動のポイントとして聞き方の「こつ」や、教科書の使い方などが、親しみあるイラストで段階的に示されており、児童にとって分かりやすい。</p> <p>○教材を掲載した「きづき」と、学習活動を掲載した「まなび」との分冊構成であるが、「きづき」には、教材に学習のめあてが示されておらず、学習の見通しがもちにくい。</p> <p>○「まなび」には、教材ごとに中心発問である「考えよう」、自らを見つめ直す「みつめよう」の2種の発問が用意されており、主体的な学習に取り組みやすい。</p>	<p>○各学年巻頭に、「心を見がく」をキーワードにしたオリエンテーションページが用意されており、何をどのように学ぶかが、イメージしやすい。</p> <p>また、授業の流れを確認することができるよう、道徳科の授業ガイダンスが合わせて示されており、工夫されている。</p> <p>○各教材に、タイトル、内容項目、キャラクターによる主題への誘いが示されており、その教材で取り扱う道徳的価値が何であるかが分かりやすい。学習の流れも明確で、学習の見通しがもちやすく、優れている。</p> <p>○各教材末に、「考えよう」「深めよう」「やってみよう」「つなげよう」として、学習の流れを可視化する発問が複数設定されており、主体的な学習に取り組みやすい。</p>	<p>○各学年巻頭見開きに、道徳科の授業は、主体的に考え、話し合う時間であること、また、道徳科の学びが自分から他者へ、社会へ、生命や自然へと重層的に広がっていくことを視覚的にイメージできるよう工夫されている。</p> <p>○各教材に、タイトル、内容項目、キャラクターによる導入の問いかけが示されており、その教材で取り扱う道徳的価値が何であるかが分かりやすい。また、学習の流れも明確で、学習の見通しがもちやすく、優れている。</p> <p>○各教材末に、「考えよう・話し合おう」として、学習のめあて、導入発問、中心発問、自分事として日常生活に結び付ける発問が用意されるなど工夫されている。</p>	<p>○各学年巻頭に、児童の授業中の写真等を用いて、道徳科を学ぶことの意義や学び方が分かりやすく紹介されている。特に、1年生では入門期として豊富なイラストや写真で興味・関心を高め、楽しんで取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各教材に、主題、導入の発問例、あらすじに加え、主な登場人物が図示されており、その教材で取り扱う道徳的価値が何であるかが分かりやすい。また、学習の流れも明確で、学習の見通しがもちやすく、優れている。</p> <p>○各教材末に、教材のねらいに迫る発問「考えてみよう」と、考えたことや未来への思い、課題を考える発問「見つめよう生かそう」の2種が用意されるなど工夫されている。</p>	<p>○各学年巻頭に、オリエンテーションページが用意され、学習指導要領の4つの視点や今後の学習の見通しなどが示されているとともに、授業で学んだことを実際の生活で生かす場面が提案されるなど工夫されている。</p> <p>○各教材に、タイトル、内容項目、主題にかかる導入文に加え、主な登場人物が図示されており、見通しをもって学習に取り組みやすい。</p> <p>○各教材では、冒頭の「導入」「問い」から教材末の「まとめる」「広げる」まで、学習の流れが可視化されており、授業の目的や流れが分かりやすく、主体的な学習に取り組みやすい。</p>	<p>○各学年巻頭に、授業の学び方を紹介・サポートするオリエンテーションページが用意されている。高学年では、同ページで生きる意味や生きる上で大切なことを問いかけるなど、学習意欲を高められるよう工夫されている。</p> <p>○主題に捉われることなく、児童の問い（問題意識）を大切にすることを意図して、各教材に主題が示されていないが、主題がないことで、児童が教材の内容を捉えにくい。</p> <p>○各教材末に、「考えよう」として、教材で扱う道徳的価値に迫るための発問と、考えを深め自己を見つめ直すための発問の2種が用意されており、主体的な学習に取り組みやすい。</p>	<p>○各学年巻頭に、詩人の詩と同学年の男女の子どもの笑顔の写真を掲載して学習へ引きつけているが、オリエンテーションページは、文字のみでイラストなどがなく、年度当初の学習意欲を高める手立てとしては、工夫が弱い。</p> <p>○各教材に、タイトルと主題が、また、中学年以上では「学習の道すじ」として、学習のめあてが示されており、発達段階に応じて、見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>○各教材末に、「考えよう話し合おう」として、その教材で扱う道徳的価値を考える問いと、自己に照らして考える問いなど複数の問いが用意されるなど工夫されている。</p>

【選定の観点1】2枚目

道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を図るため、児童の発達段階に即し、学習のねらい（目標）や振り返り活動等が適切に設定されるなど、児童の道徳的な成長を促し、実感できるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○各学年巻末に、「学習の振り返り」として、教材ごとに3つの視点で自己評価を行う特設ページが用意されている。また、「学習のまとめ」として、学期ごとに心に残った授業を振り返る特設ページが、3枚用意されるなど、よく工夫されている。</p> <p>○各学年巻末に、「学習の記録」として、授業が終わるたびに、学習内容を踏まえ、自分がイメージした色を塗り、最終的にひとつの絵を完成させる特設ページが用意されており、児童の学習意欲を高められるよう工夫されている。</p>	<p>○「まなび」では、各教材に3つの視点で学習内容を振り返り、自己評価する「つなげていこう」コーナーが設定されている。また、冒頭の「ふりかえろう」には、心に残った教材や考えたことなどを書く欄が用意されるなど工夫されている。</p> <p>○「きづき」は題材ごと、「まなび」は内容項目ごとに構成されており、関連性が分かりにくく、使いづらい。</p>	<p>○各学年巻末の「学びの記録」に、教材ごとに学習した日付を記入する欄、学期ごとに心に残った授業やその感想等を書く欄が用意されており、学習内容を振り返ることができるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に用意される5本の補充教材は、発問が弱い面があるが、内容項目ごとに関連教材をまとめて掲載することで、見通しをもった学習を促すなど、工夫されている。</p>	<p>○学期ごとに用意される「学びの記録」には、低学年は花びらに色を塗ることで学習を蓄積する特設ページ、中学年以上は学習内容を記録する欄が、教材の数だけ設けられた特設ページが用意されている。また、巻末には、1年間を振り返る「まとめ」ページが用意されるなど、よく工夫されている。</p> <p>○1年間の成長過程を踏まえ、年間を3つに区分して構成し、期間ごとに重点教材が配置されている。また、期間の区切り目には、「学びの記録」として、振り返りや自己評価が行える特設ページが用意されるなど工夫されている。</p>	<p>○別冊ノートは、各学年1冊、各教材に1ページの構成で、本冊の発問に対する考えを書く欄、思い浮かんだこと、友達の意見、話し合いの中で気付いたことなどを記録しておくメモなど、振り返りや自由記述欄が用意されており、よく工夫されている。</p> <p>○別冊ノートには、教材ごとに3つの視点の自己評価欄が用意されており、ポートフォリオとしても活用できる。また、巻末には、1年間の学習を振り返って、心に残った学習を記録する欄が設けられるなど工夫されている。</p>	<p>○中学年以上の巻末にある「学びの足あと」に、教材ごとに授業を受けた後の自分の気持ちを矢印で表すとともに、感想を書く欄が一覧の形式で設けられており、工夫されている。</p> <p>○各教材の発問が「…を考えましょう」、「…についてまとめましょう」と価値理解に寄せたものが多く、主体的な学習を促している反面、多様な学習につながりにくい面がある。</p>	<p>○各学年巻末の「心の宝物 学びの足あと」に、1年間を振り返り、自身の成長の様子などを書き込む特設ページが用意されているが、構成や投げかけ文の工夫が弱い。また、教材ごとに振り返るページ等は用意されていない。</p> <p>○特設ページ「深めよう」「つなげよう」「広げよう」などが随所に配置されており、学習内容と関連付けて、やってみようこと、自分でもできそうなことなどを書き留めておく欄が用意されるなど、実感を伴いながら学習できるよう工夫されている。</p>	<p>○別冊ノートには、授業ごと、内容項目ごとの振り返り欄と共に、話し合いや体験活動ごとの記録欄も設けられている。また、「心のしおり」には、教材ごとに、笑顔、普通の顔、困り顔の3種の顔マークに色を塗ることで自身の心情を振り返るための資料が用意されるなど工夫されている。</p> <p>○本冊は教材ごと、別冊ノートは内容項目ごとに構成されており、関連性が分かりにくい。また、本冊の目次は教材名のみで、他の情報はほぼ示されておらず、1年間の学習の見通しや教科書の使い方などが一目では分かりにくいなど、使いづらい。</p>

【選定の観点2】

言語活動や問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等、児童が主体的・対話的に道徳的価値について、広い視野から多面的・多角的に学べるよう多様な指導方法が工夫され、「考え・議論する道徳」の学習活動が展開しやすいこと。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○随所に「考えるステップ」として、教材と関連したテーマを基に、どのように考え、話し合うのかの手順が段階的に紹介されており、主体的な学習活動や話し合い活動、問題解決的な学習が展開しやすい。</p> <p>○問題解決的な学習、体験的な学習活動ともに教材数がやや少ないが、道徳的価値に根差した問題を自分の生活に生かしていくために考える学習活動が、各学年で適宜設定されている。</p> <p>○相互理解に基づくコミュニケーション活動を通じた人との関わりの中で、価値理解を深める活動が提案されている「であう・ふれあう」ページが随所に配置されるなど、多面的・多角的に考えられるようよく工夫されている。</p>	<p>○「まなび」には、他者との対話を通して学びを深めるため、「自分の考え」と「友だちの考え」を書く欄が適宜設けられており、主体的・対話的な学習につなげやすい。</p> <p>○分冊構成を生かし、教材文には発問を示さないことで、児童の自発的な課題発見を促すなど、全体を通して、問題解決的な学習が重視されている。また、「やってみよう」として役割演技等の体験的な学習活動が提案されるなど工夫されている。</p> <p>○「まなび」は、内容項目ごとに見開き構成で、右ページには「心のパレット」と題し、道徳的価値に出合ったり、多面的・多角的に考えたりすることを促すページが用意されるなど工夫されている。</p>	<p>○各学年に、「スキル」マークを付した教材が複数用意されており、動作化や書く活動、役割演技等の多様な学習方法が「やってみよう」として提案されており、主体的・対話的な学習活動が展開しやすく、優れている。</p> <p>○教材の前に、道徳的価値が実現されていないことに起因する課題を取り上げる導入ページが適宜設けられるとともに、各教材の発問は問題解決的な学習につながるよう工夫されている。また、体験的な学習活動も各学年で適宜提案されている。</p> <p>○各教材に、考え議論するための問い、価値理解をさらに深めるための問い、役割演技を促すための問い、他教科と関連した学習につなげるための問いなどが、多彩に用意されており、多面的・多角的に考える手立てとなっている。</p>	<p>○教材末に、「つなげよう」として、日常生活、これまでの学び、これからの自分の行動、他教科等との関連の4つの切り口で、主体的・対話的な学習をはじめ、多様な学習活動が適宜提案されており、優れている。</p> <p>○問題解決的な学習や体験的な学習活動につながる教材が豊富である。児童が演じて話し合うことが有効と考えられる教材には、「演じてみましょう」と提案するとともに、特設ページ「演じて考えよう」でさらに深めるなど、よく工夫されている。</p> <p>○各学年に、作家インタビュー・絵の「なんだろう なんだろう」が用意され、情緒的なイラストや言葉（セリフ）で、広い視野から道徳的価値について、多面的・多角的に考える手立てとなっている。</p>	<p>○別冊ノートに、教材ごとに、自由に活用できる書き込み欄が設けられており、様々な学習活動と関連付けて活用することで、主体的・対話的な学習はもとより、多様な学習活動につなげやすく、優れている。</p> <p>○問題解決的な学習や体験的な学習活動は、各学年で複数配置されており、該当教材の次には、対話や話し合い活動など通じて、多様な見方・考え方にふれる実践的な学習活動をイラストや写真等を用いて4段階で分かりやすく提案する「学習の手引き」が置かれるなど、よく工夫されている。</p> <p>○各学年冒頭の「道徳の学び方」ページは、考える、話し合う、書く、動くなどの活動が、イラストや写真を用いて、分かりやすく示されており、多様な学習活動を促し、多面的・多角的な学びへの手立てとなっており、よく工夫されている。</p>	<p>○コラム「ことばのたからもの」では、名言や格言などを紹介し、言葉の持つ力を実感しながら、主体的に学習することを促すとともに、他教材と関連付けることで、対話的な学習にもつなげられており、工夫されている。</p> <p>○各教材の導入に、キャラクターの吹き出しで、その教材で考える課題が示されるなど、問題解決的な学習を促している。また、「まとめる」、「広げる」では、多様な体験活動が提案されるなど工夫されている。</p> <p>○共感や気付き、考えるためのポイント、自由な思考を促す発問など、キャラクターを用いた様々な「投げかけ」が、各教材の本文下段に示されており、多面的・多角的に思考するための手立てとなっている。</p>	<p>○全学年を通して、「学び方ページ」が豊富に設定されており、主体的な学習活動や話し合い活動、グループワークなど多様な学習方法が提案されるなど、多面的・多角的に学べるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○問題解決的な学習、体験的な学習活動ともに教材数がやや少ないが、「やってみよう」では、体験的な学習を行うための活動のポイントや方法が、積極的に提案されるなど、工夫されている。</p> <p>○多面的・多角的に考えるための「深めよう」、自己の生き方につなげて考える「つなげよう」、視野を広げる「広げよう」、体験学習を行う「やってみよう」と、多様な学習活動を提案する学び方ページが多面的・多角的な学習への手立てとなっており、優れている。</p>	<p>○別冊ノートは、内容項目ごとに1ページ構成で自分の考えなどを書く欄や話し合い活動の記録欄などが用意されているなど、主体的・対話的な学習が促されており、工夫されている。</p> <p>○各学年を通して、問題解決的な学習や体験的な学習活動に対応した教材、それらの学習につながるよう工夫された教材が、他社に比べて最も豊富に設定されている。</p> <p>○適宜配置される「学習を広げる」では、教材に関連した知識の習得やさらに深い価値理解を促すため、格言や関連書籍が紹介されるとともに、役割演技や調べ学習が提案されており、多面的・多角的に思考するための手立てとなっている。</p>

【選定の観点3】

教材に応じて、読み物資料に加え、多様で適切な挿絵や写真等が豊富に用いられるとともに、特定の見方や考え方に偏ることなく、多様な見方や考え方ができるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○教材に応じて、適切な挿絵やイラストが豊富に用いられており、親しみやすい。</p> <p>○適宜配置される「つながる・ひろがる」では、学習内容や日常生活と関連付けて、幅広く多様な知識や教養が身に付けられるよう、世界の環境問題や国境なき医師団などが写真等で多彩に紹介されており、関連する他教科も示されるなど工夫されている。</p> <p>○各学年に複数設けられている特設ページ「問題を見つけて考える」では、家族、環境、自由など幅広いテーマを、印象的な短文と写真のみのシンプルな構成により、問題意識を高め、多様な見方・考え方ができるよう工夫されている。</p>	<p>○挿絵やイラストなどが豊富で、全体を通してパステル調で温かみを感じられる。</p> <p>○「まなび」の「心のパレット」には、同年代の児童が吹き出しで問いかけるイラスト・写真が豊富で、日常生活の場面や、先人の言葉、宇宙の魅力など、幅広いテーマから引き出される道徳的価値を多様に捉え、考えることができるよう工夫されている。</p> <p>○「まなび」の巻末に、「まなびのヒント」として、上手な聞き方・話し方など授業で話し合う際の約束やヒントが、分かりやすく整理されており、話し合い活動を通して、多様な見方・考え方がつながるよう工夫されている。</p>	<p>○見開きに1点はイラストや写真が掲載されており、教材の特徴をイメージしやすい。</p> <p>○各教材末の発問に、キャラクターによる吹き出しの形で、様々な視点から考えるヒント・ポイントが適宜示されており、児童自身の気付きを大切にしながら、多様な見方・考え方ができるよう工夫されている。</p> <p>○各所に、心の中の弱い自分、ルールを破ろうとする友人、仕事中に話しかけられた店員など、様々な場面設定を題材にした、モラルスキルトレーニングが取り入れられており、多様な見方・考え方がつながるよう工夫されている。</p>	<p>○挿絵やイラストは温かみがあり、言葉も適切で児童の思いを引き出しやすい。また、表紙の3行詩が印象的である。</p> <p>○教材末に適宜配置される「つなげよう」では、特別活動との関連、図書の紹介、日常生活への意識付けなど、キャラクターが呼びかける形で、多様な見方・考え方がつながるとともに、1時間の学びを次の行動に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○各学年巻末に、友達づくりや話し方などの「こつ」を身に付けるためのポイントが、発達段階に応じてわかりやすく示されており、話し合い活動や役割演技等を通して、多様な見方や考え方ができるよう工夫されている。</p>	<p>○パステル調の温かみのある色彩が基本となっており、教材の特徴に応じて風合いを変えるなどイメージを生みやすい。</p> <p>○コラム「心のベンチ」は、キャラクターによる考えるヒントの提示やゲーム感覚で取り組める活動を取り上げるなど多彩な手法を用いて、情報モラル、職業、外国文化、マンガ・アニメなどの幅広いテーマを他教科や他の教育活動とも関連付けながら、多様な見方・考え方ができるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○各学年の巻末に「あすをみつめて」と題して、幅広いテーマから、先人・著名人等の印象的な名言・格言が写真と共に紹介されており、多様な見方・考え方がつながるよう工夫されている。</p>	<p>○大きな挿絵やイラストなどが豊富で、全体を通してパステル調で温かみを感じられる。</p> <p>○各学年冒頭の「あなたはどんな自分になりたいですか」では、今の自分と近い将来の自分とをイメージさせる多彩な姿や場面が紹介されており、児童の想像力を引き出し、多様な見方・考え方ができるよう工夫されている。</p> <p>○各教材の「広げる」では、道徳科で学んだことを他教科等や家庭生活、地域社会へとつなげるための課題やポイントが示されており、多様な見方・考え方がつながるよう工夫されている。</p>	<p>○大きな挿絵やイラストなどが豊富で、ダイナミックな写真で児童の学びたくなる気持ちを引き出している。</p> <p>○各学年表紙の裏見開きを使って、大きな写真と印象的な詩が掲載されている。詩の内容は児童を前向きな気持ちにさせるとともに、自由な発想から物事を多様に見て、考えることを促しており、工夫されている。</p> <p>○異なる意見をもつ複数の登場人物で多様な見方・考え方ができるよう図られている一部の教材において、登場人物の数が多過ぎ、配置も粗いため、関係性が掴みづらく、役割演技の提案も明確でないため、活動しづらいものがある。</p>	<p>○全体にイラストや挿絵に新しさは感じられないが、白を基調としたゆとりある紙面で読みやすい。</p> <p>○コラムや「学習を広げる」コーナーでは、他教科等や日常生活につながる体験的な学習や、読書活動等が提案されるとともに、先人や格言が紹介されるなど、多様な見方・考え方ができるよう工夫されている。</p> <p>○本冊の特設ページ「命を守る」、「ともに生きる社会」、「情報モラル」は、価値理解を深めるために有効である。また、別冊ノートには、写真や格言、教材理解を深める書き込み欄等が、随所に盛り込まれており、多様な見方・考え方がつながるよう工夫されている。</p>

【選定の観点4】1枚目

生命の尊厳，社会参画，自然，伝統と文化，先人の伝記，スポーツ，情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし，児童が物事に対して多様な考えをもつことができたり，感動を覚えたりするよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○現代的な課題であるいじめ問題，情報モラル，防災・安全教育，キャリア教育等について，児童が主体的に考えられる内容が取り上げられるとともに，コラムとも関連させ，多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○全学年で「いじめ問題」が重点項目とされている。</p> <p>「いじめのない世界へ」と題し，扉ページと2教材を組み合わせたユニットを構成し，扉ページでは一人一人が相手意識をもつことの大切さなどを印象的な言葉で投げかけ，教材は直接教材と間接教材を組み合わせるなど，いじめをしない，許さない心を育てるよう，よく工夫されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，情報モラル，防災・安全教育，キャリア教育等について，児童が主体的に考えられる内容が取り上げられるとともに，「まなび」での多様な学習方法や関連資料とあわせて，多様に考えることができるよう工夫されている。</p> <p>○各学年で取り上げられるいじめに関する教材には「ともにいきる」マークが付され，学習前の意識付けが行いやすく，特に学級が崩れやすいとされる6月・11月，人権週間のある12月を中心に配置されるなど，生命の尊重，よりよく生きることについて，時機を捉えて，集中的に学べるよう工夫されている。</p>	<p>○現代的な課題では，「いじめをなくす」，「情報モラル」，「生命尊重」の3点が重点とされている。それぞれ多様な教材が複数用意されるとともに，該当教材には，目次と教材にマークを付すことで意識付けが図られている。</p> <p>○重点のひとつである「いじめをなくす」は，全学年を通して，教材が豊富に取り上げられており，直接教材と間接教材を組み合わせたり，導入教材を用いて，いじめを自分ごととして強い問題意識をもってから教材へつなげたり，教材のあとに，補助教材やコラムを配置し，さらに多面的・多角的に考えられるようにするなど，生命の尊厳について深く考えることができるよう，よく工夫されている。</p>	<p>○教材とコラムを組み合わせた「いじめを考えるユニット」，「情報モラルユニット」などの現代的な課題とともに，社会の持続可能な発展について考えるユニットも設けられるなど，多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○「いじめを考えるユニット」として，複数教材とコラムを組み合わせ，多面的に考えられるよう重点化されている。いじめをする者，される者，傍観者，相談される者など，実際に役割演技することに加え，友達が演技している様子を観察して，どのようなことを話し合うかといった多様な視点から考えることを促すなど，よく工夫されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，情報モラル，防災・安全教育，キャリア教育等について，児童が主体的に考えられる内容が取り上げられるとともに，コラムや特設ページと関連させるなど，多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○いじめ防止，情報モラル，安全，社会の持続可能な発展などに関する教材は，コラム「心のベンチ」と組み合わせ配置されている。特に重要テーマとするいじめ防止は，各学年各学期に複数教材と関連するコラムをユニットとしてまとめて配列されており，集中的に学習することで「知らない」「させない」「見過ごさない」力を育てるよう，よく工夫されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，情報モラルが重視されており，全学年に教材と人気キャラクターを用いたコラムが関連付けて配置されるなど，児童の関心を高めながら，多様に考えることができるよう工夫されている。</p> <p>○いじめ問題について，扉ページと関連教材，コラムを組み合わせ重点的に配置されている。教材やコラムの内容を扉ページで図示することで，複数時間にわたる学習への見通しをもてるよう工夫されている。また，教材は直接教材と間接教材を組み合わせ，小学生や中学生の題材を用いることで，等身大の自分を意識しながら，実感をもって学べるよう工夫されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，情報モラル，防災・安全教育，キャリア教育等について，児童が主体的に考えられる内容が取り上げられるとともに，特設ページとも関連させながら，多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○6年間を貫く最重点テーマを「いのちの教育」として，「生命の尊厳」に関する複数教材を連続して学習するユニットが，各学年に3箇所設定されている。いじめ防止について，直接教材と間接教材を組み合わせたり，また，話し合い活動やグループワークを提案する特設ページと関連付けたりして，幅広い角度から集中的・多面的に学習できるよう，よく工夫されている。</p>	<p>○現代的な課題であるいじめ問題，情報モラル，防災・安全教育，キャリア教育等について，児童が主体的に考えられる内容が取り上げられるとともに，別冊ノートの資料等とも関連させながら，多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○6年間を通して，「生命尊重」に重点が置かれており，各学年で3時間ずつ設定されるとともに，特集ページ「命について考えよう」などが用意されており，印象的な写真と短文で，命が宿る神秘，ともに生きる素晴らしさ，限りある命として，感動を覚えながら，生命について多面的に考えることができるよう工夫されている。</p>

【選定の観点4】2枚目

生命の尊厳，社会参画，自然，伝統と文化，先人の伝記，スポーツ，情報化への対応等の現代的な課題等を題材とし，児童が物事に対して多様な考えをもつことができたり，感動を覚えたりするよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○情報モラルについて，小学生にスマートフォンを持たせることについて様々な立場からの声を紹介して，「スマートフォンとの付き合い方」を考えさせる教材など，多様な意見を参考に，自らの考えを深めていけるよう工夫されている。</p> <p>○巻末付録で，日本の伝統文化等が写真等を用いて多彩に紹介されている。また，見開きのタウンマップにあるジグソーパズルを組むと「町の自慢の場所」が完成し，そこから自分たちの郷土を誇るべき点を考えさせるなど，児童の興味を引きつけながら，我が国の伝統や文化を尊重し，地域に愛着がもてるよう工夫されている。</p>	<p>○情報モラルについて，実際に起こり得る動画投稿やLINEの既読スルーなどを題材に漫画形式で取り上げるなどして，情報を扱う際のルールや危険性について，自分事として考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○巻末「ふるさとコラム」では，全国のお花見，お雑煮，給食，農業，祭りなどが多彩に取り上げられており，受け継がれてきた伝統や文化への理解を深め，それらを尊重する態度とともに，地域に愛着がもてるよう工夫されている。</p>	<p>○電話や学級新聞，メールなどを題材に，発達段階に応じた情報モラル教材が全学年で取り上げられており，身近な題材を通して，個人情報や情報を扱う際のルールの必要性について深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>○全体を通して，内容項目「伝統や文化の尊重，国や郷土を愛する態度」を扱う教材や資料が豊富なことが特徴的である。教材等を通して，地域に尽くした先人や各分野で活躍される人物の生き方などから学び，我が国の伝統や文化を尊重し，地域に愛着がもてるよう工夫されている。</p>	<p>○情報モラルについて，各学年に2教材ずつ取り上げられている。低学年では「きまりを守る」，中学年以上では「SNSとの付き合い方」と，発達段階に応じて，情報と適切に向き合うことの重要性を深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>○中学年以上の巻末に，大切に受け継がれてきた日本各地の暮らしに関わる道具，祭り，伝統工芸，町おこしなどが，特設ページに多彩に紹介されており，我が国の伝統や文化を尊重し，地域に愛着がもてるよう工夫されている。</p>	<p>○情報モラルについて，言葉（情報）の持つ意味やその影響力から，情報セキュリティや情報社会の倫理まで，幅広い教材が取り上げられている。また，複数教材が集中的に配置されるなど，多様に考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○日本各地の先人の功績や自然，スポーツなど幅広い題材が，地域や家庭，学校を取り巻く郷土と関連付けて多彩に教材化されており，長い年月を経て受け継がれてきた我が国の伝統や文化を尊重し，地域に愛着がもてるよう工夫されている。</p>	<p>○情報モラルについて，身近な話題に関する教材やコラムが全学年に用意されている。SNS上のトラブルから人間関係を学んだり，スマートフォンのプラス面やマイナス面を考えたりすることで，考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○全体を通して，スポーツが重点とされている。オリンピック・パラリンピックを題材として，自国の選手の活躍や国際的な大会としての視点も踏まえた教材が豊富で，国際理解・国際親善にもつながる内容で，児童の関心を高めている。</p>	<p>○情報モラルについて，関連教材にマークが付されるなど，意識付けが図られている。クラスのニュース係，調べ学習でのインターネット利用，友人同士のSNSトラブルなど，発達段階に応じた身近な題材から考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○オリンピック・パラリンピックで活躍する人々などスポーツを題材とする教材が豊富に取り上げられている。力強い生き方や喜び，苦しみなど，その生き方を通して，夢や希望をもつことの素晴らしさ，よりよく生きることのよさを実感できるよう工夫されている。</p>	<p>○情報モラルについて，教材に加え，特集ページが設けられるなど重点化されている。児童の身近に見られるような何気ないメッセージのやりとりを例に，顔の見えないコミュニケーションの落とし穴などについて考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○国内外を問わず，幅広い視野から先人や著名人に関する教材が全学年で取り上げられている。多様な生き方，人知れぬ努力や苦悩，それを乗り越えようとする気高さなど，人間としてよりよく生きることについて，深く考えられるよう工夫されている。</p>

【選定の観点5】

教材の系統性・発展性に加え、カリキュラム・マネジメントの視点から、他教科等や現代的な教育諸課題との関連、また、他校種との接続や家庭・地域との連携について工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列されるとともに、発達段階に応じた内容となっている。また、各教科等との関連付けや、家庭や地域社会に関する教材など、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○他教科等や現代的な課題との関係を示した一覧表はないが、各所に配置されている「つながる・ひろがる」ページで、他教科との関連や日常生活とのつながりを意識した学習が示されている。</p> <p>○各学年巻末に、「これからはかがやく自分に」として、次学年（中学校）の自分にメッセージを書く欄が設けられている。</p> <p>○裏表紙に、「豊かな学びが未来を拓く」として、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列されるとともに、発達段階に応じた内容となっている。また、各教科等との関連付けや、家庭や地域社会に関する教材など、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○各学年巻末に、内容項目、教材番号、教材名、「きづき」と「まなび」の関係ページ、現代的な課題との関係が一目でまとめられている。</p> <p>○「まなび」に、「振り返ろう」として、1年間の振り返りや次学年（中学校）に向けた思いを書く欄が設けられている。</p> <p>○「まなび」の巻頭に保護者記入欄が用意されとともに、巻末に、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○同じ内容項目の複数教材は連続して配置されるとともに、発達段階に応じた内容となっている。また、各教科等との関連付けや、家庭や地域社会に関する教材など、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○各学年巻末に、内容項目、教材名、ページ、現代的な課題との関係、他教科等との関係が一目で掲載されている。また、「まなびリンク」として、学習内容に関連するウェブサイトも紹介されるなど、多様な学習活動の展開に有効である。</p> <p>○各学年巻末の特設ページに、1年間の振り返り、次学年（中学校）で頑張りたいことを書く欄が設けられている。</p> <p>○各学年巻末の特設ページに、「家の人から一言」欄が用意されている。</p>	<p>○教材は発達段階に応じた内容となっている。また、各教材末「つなげよう」で、他教科等との関連、関連図書の紹介、家庭や地域の日常生活へのつながりなどが、多様に示されるなど、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○各学年巻末に、教科書が目指す学年ごとの児童の姿が示される「先生方へ」とともに、内容項目、主題、教材番号、教材名、ページ、現代的な課題との関係、他教科等との関係が一目で分かりやすくまとめられており、使いやすく、有効である。</p> <p>○辻井伸行氏（ピアニスト）、山中伸弥氏（IPS細胞生物学者）等からの将来に向けたメッセージが掲載されている。</p> <p>○裏表紙に、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列されるとともに、発達段階に応じた内容となっている。また、各教科等との関連付けや、家庭や地域社会に関する教材など、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○各学年巻末に、内容項目、教材名、主題名、ページ、「学習の手引き」に対応した教材、ホームページ上のデジタル教材、現代的な課題との関係、他教科等との関係、作者・出展、挿絵の著作者が一目で示されており、使いやすく有効である。</p> <p>○別冊ノート巻末に、1年間の振り返りや次学年（中学校）に向けた思いを書く欄が設けられている。</p> <p>○振り返り欄に保護者記入欄が用意されとともに、裏表紙に、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列されるとともに、発達段階に応じた内容となっている。また、各教科等との関連付けや、家庭や地域社会に関する教材など、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○各学年巻末に、内容項目、教材番号、教材名、ページ、現代的な課題との関係、関連性のある内容項目が一目で分かりやすくまとめられている。</p> <p>○巻末「学びの足あと」に、1年間の振り返りや次学年（中学校）に向けた思いを書く欄が設けられる。</p> <p>○裏表紙に、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>	<p>○同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列されるとともに、発達段階に応じた内容となっている。また、各教科等との関連付けや、家庭や地域社会に関する教材など、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○各学年巻末に、内容項目、教材番号、教材名、主題名が一目で分かりやすくまとめられている。</p> <p>○「学びの足あと」に、中学生になる自分へのエールを書く欄が設けられている。</p> <p>○学び方ページに、「家の人に書いてもらいましょう」、「考えたことを家の人と話し合おう」と適宜提案されている。</p>	<p>○同じ内容項目で複数の教材があるものは、時期をおいて配列されるとともに、発達段階に応じた内容となっている。また、各教科等との関連付けや、家庭や地域社会に関する教材など、カリキュラム・マネジメントの視点にも配慮されている。</p> <p>○各学年巻末に、教材番号、教材名、内容項目、作者が一目で分かりやすくまとめられている。</p> <p>○別冊ノートに、道徳科での学びを踏まえ、将来の夢を書く欄が設けられている。</p> <p>○「心のしおり」に、保護者チェック欄が用意されとともに、本冊、別冊ともに裏表紙に、保護者へのメッセージが掲載されている。</p>

【選定の観点6】

基本的人権の尊重の視点に立った内容が積極的に取り上げられ、悩みや葛藤等の心の揺れ、人間関係の理解等の課題も含め、児童が深く考えることができ、よりよく生きる喜びや勇気を与えられるよう工夫・配慮されていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○定番教材を漫画形式にすることで、文章を読むことが苦手な児童にも把握しやすくするなどインクルーシブ教育に配慮されており、人権尊重についての理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>○道徳教育では定番の心揺さぶる感動的な教材や児童には身近な宮沢賢治を題材に自分の弱さ、悩みや葛藤を乗り越え、よりよく生きる喜びについて考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の最終ページに「みんなで歌おう」として、生きる希望や勇気、ともに生きる喜びなどを感じさせる歌詞が掲載されており、よりよく生きることの素晴らしさを実感できるよう工夫されている。</p>	<p>○全体を通して「共にいきる」を基本方針に教材が選択されており、基本的人権を意識できる教材が数多く取り上げられるなど工夫されている。</p> <p>○関連資料として、「世界人権宣言」が分かりやすく解説されるなど、人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○スポーツの教材を通して、世界を舞台に活躍する選手やそれを支える人々の公正な態度や礼儀、連帯精神、力強い生き方や苦しみなど、よりよく生きることについて考えを深められるよう工夫されている。</p>	<p>○「パラリンアート」(障害のある人が描いた作品)が裏表紙で紹介されるなど、多様性や共生について理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○「おじぎ」、「公共の場でのマナー」など、イラストや写真等を用いた折込資料で、礼儀やマナーの定着と人間関係について考えを深められるよう工夫されている。</p> <p>○歴史や文化、スポーツなど様々な分野で道を切り拓き、業績を残した先人や現在活躍している人に関する教材が豊富である。その生き方を通して、よりよく生きることの素晴らしさを実感できるよう工夫されている。</p>	<p>○人物の性格や人柄を表す時に役立つ言葉を集めた特設ページが設けられており、人間関係を含め、人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○教材やコラムに「世界人権宣言」、「子どもの権利条約」が取り上げられるなど、人権尊重についての理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○中学年以上に福祉・共生にかかわる教材とコラムを組み合わせたユニットが用意されており、ユニバーサルデザイン、差別のない社会など、人間関係や生きる勇気を深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「心のベンチ」で、「子どもの権利条約」、「世界人権宣言」が取り上げられるなど、人権尊重の意識を高められるよう工夫されている。</p> <p>○著名な絵本を題材に取り上げ、いじめを傍観者的に見る様々な立場を提示することで、これまでの自分を振り返り、葛藤や心の揺れを受け止めながら、いじめ問題に向き合うよう促されている。</p> <p>○多様な先人や著名人が取り上げられており、生きる勇気や知恵と共に、人間としての弱さなど、生きることの苦しみや魅力、その意味までを深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○コラム「みんな仲よし楽しい学校」、「みんなでやってみよう」では、学校生活の場面から人間関係について考えられるよう工夫されている。</p> <p>○教材に「子どもの権利条約」が取り上げられるなど、人権尊重についての理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○教材やコラムに、障害のある方がいきいきと働く姿や、様々な職業を紹介するなど、働くことの意味やよさを考え、よりよく生きる喜びについての理解を深められるよう工夫されている。</p>	<p>○けがや災害等で身体や生活に不自由がある人との関わりや支援、障害者理解など、福祉を中心に、人権尊重についての理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>○ユニバーサルデザインやピクトグラムに関する教材が取り上げられるなど、人権を意識した指導の展開が図りやすい。</p> <p>○学び方ページに、「礼儀正しい挨拶とは何か」、「礼に始まり終わる将棋の心」、「支えられて生きている」など、豊富な題材を取り上げ、人間関係について深く考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年で「命の教育」が重視されている。豊富な教材に加え、防犯・防災といった視点も含め、様々な側面から命を守ることについて考えられるよう工夫されている。</p> <p>○特設ページで、ユニバーサルデザインや著作権が取り上げられるなど、人権を意識した指導の展開が図りやすい。</p> <p>○道徳教材として、長く読み継がれてきた名作や、大人にも胸にしみる物語等が多数掲載されており、児童の心を揺さぶり、人間関係の理解を含め、よりよく生きるための道徳的思考へと導いている。</p>

【選定の観点7】

表記や表現について、文章や挿絵、写真等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成等について配慮がなされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。また、再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮がなされていること。

発行者名							
2 東書	11 学校図書	17 教育出版	38 光村	116 日文	208 光文書院	224 学研	232 あかつき
<p>○幅の広いAB版で、文字の大きさ、文字間や行間も読みやすく、注釈や考える視点等を示す文字は教材文より小さくするなど配慮されている。</p> <p>○UD教科書体やCUDが採用されており、色覚特性に対しても配慮されている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>	<p>○幅の広いAB版で、文字の大きさ、文字間や行間も読みやすいが、「まなび」の自分の考えや友達の考えを記入する欄のマス目が細かく、低学年と高学年で同じ大きさであるなど、配慮されていない。</p> <p>○UDフォントやCUDが採用されている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>	<p>○幅の広いAB版で、文字の大きさ、文字間や行間も読みやすく、優しい配色や適切な余白など配慮されている。</p> <p>○UDフォントやCUDが採用されており、専門機関の認証マークも取得されている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>	<p>○B5変型版で、文字の書体や大きさ、文字間や行間も読みやすく、熟語の混ぜ書きを避けるなど配慮されている。</p> <p>○CUDが採用されており、特別支援教育の専門家による校閲がなされている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>	<p>○幅の広いAB版で、文字の大きさ、文字間や行間も読みやすく、罫線や囲み、色使いなどレイアウトの工夫で判読しやすいよう配慮されている。</p> <p>○CUDなどが採用されており、特別支援教育への対応もなされている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>	<p>○A4変型版で、サイズが大きい。文字の大きさ、文字間、行間は読みやすいが、各教材の学習のポイントとして示される「まとめる」と、学習を深めるためのヒントとして示される「広げる」の文字表記がないため、児童がどちらの学習を行なっているのか分かりづらい面がある。</p> <p>○CUDが採用されており、特別支援教育の専門家による校閲がなされている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>	<p>○A4版で、サイズが大きい。文字の大きさ、文字間、行間は読みやすく、温もりあるイラスト、リアリティある写真等が効果的に併用されている。</p> <p>○UDフォントやCUDが採用されており、専門機関の認証も取得されている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>	<p>○幅の広いAB版で、文字の大きさ、文字間や行間も読みやすく、別冊ノートも書きやすい紙質で、レイアウトも工夫されている。</p> <p>○UDフォントやCUDが採用されており、専門機関の認証も取得されている。</p> <p>○造本は堅牢で、再生紙や植物油インキの使用など環境にも配慮されている。</p>

※UD教科書体：ユニバーサル・デザイン教科書体、CUD：カラー・ユニバーサル・デザイン、UDフォント：ユニバーサル・デザインフォント